

いいたて
便り

10/12

相馬農業高校飯館校が文化祭を開催

相馬農業高校飯館校の文化祭が、今年度は初めて仮設校舎を会場に開催されました。仮設校舎は県立福島明成高校の敷地内にあります。会場には生徒の家族や友人が訪れ、学習の成果を展示で見たり、カボチャ「いいたて雪っ娘」を団子に練り込んだ団子汁を味わったり、歌やダンスに拍手を送ったりして楽しんでいました。



▲「初めての場所で不安もありましたが、想像以上に楽しいです」

◀「元気でやっていて楽しいね」と佐藤ハギノさん(大倉)。孫の綾香さんと



小学生がパレードに参加

10/12

ビバ！ビバ！コスキン

草野・飯樋・白石小学校の児童とPTA約40人が、毎年川俣町で行われている南米音楽の祭典「コスキン・エン・ハポン」のパレードに参加しました。避難以来3年連続の出場です。

男の子はポンチョをまとい楽器を手に、女の子はアルゼンチン風のドレスの裾を振りながら、沿道をうめた観客に笑顔を見せ、約1.5kmをパレードしました。



▲華やかなドレスや髪飾りが似合っていますね

10/13

招待を受け「鹿沼ぶっつけ秋祭り」へ

栃木県鹿沼市(佐藤信市長)の招待を受け、村民32人が「鹿沼ぶっつけ秋祭り」を訪れました。このお祭りは、27の屋台が、各町民に引かれて練り歩くもので、参加者は、同市が用意した観覧席から、迫力ある屋台回しや屋台ごとの見事な彫刻、お囃子などを楽しみ、ご当地ならではの祭りの雰囲気を楽しみました。鹿沼市には震災直後に約500人の村民が一時避難しており、以来、継続して支援をいただいています。



▲美しく勇壮な屋台が次々に現れました

10/5

先に浮かぶ思い出「影絵教室」

飯野出張所で影絵を制作するワークショップが開かれました。これは村公民館と津田塾大学ピースアートプロジェクトの主催によるもので、約20人が参加し、村の風景や楽しかった思い出をテーマに作品作りに取り組みました。完成した作品が並び光が当てられると、明かりを消した部屋には色彩豊かな影絵が浮かび、参加者から歓声が上がりました。



◀思い出のひとつが光に包まれて

▶影絵の美しさに笑顔も輝きました

いいたて
便り

ひと月のできごとを
振り返ってお知らせします



自衛隊福島駐屯地のイベントに出展しました

10/6



◀商品の紹介から店先で会話がはずむことも

陸上自衛隊福島駐屯地創立60周年記念のイベントで、市町村特産物販売コーナーに村も出展し、日本酒やどぶろく、手工芸品などを販売しました。イベントでは、自衛隊員によるパレードやヘリコプターから降下する模擬訓練などが行われ、会場は大勢の来場者でにぎわいました。店先にも多くの人が足を止め、販売を担当した村民の皆さんが笑顔で商品をPRしていました。

10/8

鹿狼山を登る軽登山にチャレンジ

相馬大野台応急仮設住宅の住民を対象に、村教育課生涯学習係が主催するスポーツ教室が行われています。今回挑戦したのは、仮設住宅に近い鹿狼山(新地町)への軽登山。晴天に恵まれ、17人の参加者は、和やかに声を掛け合いながら山道を登って行きました。休憩をはさみながらやがて無事登りきり、山頂から望む海の景色も楽しみました。



▲木漏れ日がゆれる登山道でひと休み